
脱

あきくん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

脱

【コード】

N9011B

【作者名】

あきくん

【あらすじ】

SF（少し不思議）です。少女が何にもとられないことになった話で、最終的に何も残りません。そんな感じですよ。

脱

ある日少女は、

「わたしは何にもとらわれないことにした」と宣言した。

別に深い意味なんてあったとは思えないが、とにかくそう宣言したという。とはいえ本人にしてみれば確固たる理由があった、と当時の友人はふりかえって語る。それを有り体にいつてしまえば、法律やルールにとらわれて生きていくなんで嫌で、自分は自由に生きていきたい、ということだったらしい。しかしながら、もちろんと断言しては問題があるかもしれないが、信じる信じないの話ではなくそれ以前、つまり無駄話の単なるフレーズとして、記憶の片隅にあえて残すようなものとは誰も思いもしないものであった。

対し、少女は己の内なるものに正直だった。

以来少女は言葉どおり何にもとらわれない生活を送っていく。

服装、髪型等の身だしなみ然り、生活態度然り。時間を気にせず私服で登校し、いつしかふらつといなくなり、お菓子を持って帰ってくる。その程度のことから始まり、突如としての奇声、人前で平気で着替える等、いつしか理性や羞恥心といった人間としての精神的なものにまでとらわれることをやめていったようだった。この頃から友人たちは少女の本気を信じざるを得ず、そして少女の友人から知人へと変わっていくことを求める者が増えたという。

しかしそれも歯止めとなるには遠く及ばず、むしろ止める者が減ったことで奇行に拍車をかけたようなものだった。少女は変人扱いされるといふ感覚、いやそれ以上、変人扱いされることを気にするという感覚からまずでに脱していたため、その程度は度というものを知らなかったのだ。

ある者は自分勝手にわがまま過ぎると驚愕し、またある者はその自由奔放ぶりに憧れ少女を崇拜した。このように、周りの者はすべからくある種羨望の眼差しで少女を見つめていたというが、それでも当時の少女を考えるに、過言どころかまだいくら不足しているように感じる感もある。

ある時、少女の生き方は何かを越えた。本来ならば越えることなど出来ようはずもない何かをだ。他に解き放つものがなくなったからなのか、それとも規格外の精神の賜物なのか、何にせよ少女の意識は急速に広がりながら空間や世界に浸透していくようだった。

少女は何にもとらわれるつもりはなかった。

ついには地面から足がはなれたのだ。抽象的な表現ではなく、現実かつ具体的な意味である。つまりは重力にもとらわれるつもりはないということだ。ここに、なぜ、という疑問は必要ない。少女がそうしたかっただけなのだから。

さらには、何もないところから物を自在に取り出すようになった。これは宇宙を渦巻く物理の法則にもとらわれるつもりはないということの意思の表れの一環であった。

それから少女は時間、いや時にとらわれることもやめた。時間移動を行うようになり、そして年をとることもなくなり、死ぬこともなくなった。少女は死にとらわれることもやめたのだった。

何にもとらわれずに生きていくとはなんとすばらしく楽しいことなのだろう、と少女はその傍目にはどこか希薄な状況を楽しんだという。

そして運命の日がおとずれる。

少女の考えは今では、この世界にとらわれることもやめていた。

何もなく、空白な自分。

とらわれるものがなくなれば、自分の居場所もないではないか。少女はそう気がついた。

そしてこれも気がついた。

「わたしは自分にとらわれている」

少女は自分にとらわれることもやめた。
少女で在ったものは無に囚われた。
了

(後書き)

20070428

読んでくださった方、ありがとうございました。

解りにくく読みにくい。そんな風になってしまいましたが、反面最後はあっさり消えるようにしたつもりです。

人間個々個人の存在している意味とは何なんでしょうね。ふと考える今日この頃です。

ともあれ感想を頂ければ幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9011b/>

脱

2010年12月14日19時48分発行